

西海ゼミ 30周年おめでとうございます。

西海智恵子

西海は本来でしたら来春、めでたく定年を迎えるはずでしたが、今年新しい学科に移り、後3年間は勤めさせていただくことになりました。法政大学工学部から優秀なエンジニアを少しでも多く輩出させるために、ぜひとも全力で邁進して欲しいと願っているのは私1人ではないでしょう。本人も体力の減退を感じつつ、まだまだやれるのではと張り切っています。私も彼が健康で無事に“本当の”定年の日を迎えられるよう、これまで以上にサポートして行きたいと思っています。

彼の生活はこの30年間殆ど変わっていません。朝は8時30分～9時の間に起床、10時半ごろ出勤し、夜9時から10時の間にカエルコールで夕飯は10時～11時。夕飯を終えて寝るまでの時間が短いので相変わらずメタボの体を抱えています。2000年に鎖骨を骨折して以来、2年ごとに全身麻酔の手術を繰り返し、満身創痍。「僕は立川病院のすべての外科を制覇したぞ」なんて息巻いています。「太っていて何が悪い？」が持論。酒はウイスキー、日本酒、焼酎の類から梅酒まで何でも飲みます。毎晩まずビールで乾杯！！その後その日の気分で焼酎やウイスキーを飲んでいきます。

2人とも同じ1944年の2月生まれですので、新しい年を迎えると65歳になります。流石にこの歳になりますと、まさしく「老化」と言う言葉が現実味を帯びて来ました。①まずは物忘れが激しくなりました。物の名前、人の名前がすんなり出てこない。②運動能力が低下する。昨夏西海は階段を3段ほど背中から落下。腰を痛めました。③私は今夏、右手に親指CM関節症とデケルバン氏病を発症。

しかし、2人とも気力だけはまだまだ十分に持ち合わせています。（と、自分たちは思っています）孫が生まれたら2人でその子をGood citizenに育てようと手薬煉引いて待っていますが、娘は未だbetter halfと巡り逢っていないようです。孫がいないことも何とか若さを保っている理由の1つかもしれません。それと西海は（人様によく言われますが）若い学生の皆さんと日々接しているからかも。前途洋々たる有能な若い学生たちに接する授業の中で、またはゼミの中で皆さんからのエネルギーを取り込み、更にエネルギーを生み出しているのかもしれません。

いずれにせよ、歳はとりましたが、西海は相変わらず、好奇心が強く、良く食べ、良く飲み、良く勉強し、良く寝る生活を繰り返しています。“本当の”定年まで後数年、持ち前の強靱な精神力で乗り切ることを切に祈っています。

2008年12月15日